



# 速報 「プラスチック」のイメージ調査（第6回）

調査期間 2024年6月7日～16日

日本プラスチック工業連盟



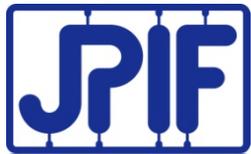
# 「プラスチック」のイメージ調査(2024年) アンケート調査の方法

- 調査対象 : 全国の満20歳以上男女
- 標本サイズ : 4,000人「 4,000人」
- 有効回収数 : 1,202人(30.1%)「 1,202人(30.1%)」
- 標本抽出法 : 層化副次(三段)無作為抽出法

|      |       |       |         |         |       |       |         |
|------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|---------|
| 市郡規模 | 21大都市 | その他の市 | 町・村     | 総数      |       |       |         |
|      | 346   | 741   | 115     | 1,202人  |       |       |         |
|      | 「364」 | 「730」 | 「108」   | 「1,202」 |       |       |         |
| 性別   | 男性    | 女性    | 総数      |         |       |       |         |
|      | 547   | 655   | 1,202人  |         |       |       |         |
|      | 「578」 | 「624」 | 「1,202」 |         |       |       |         |
| 年齢   | 20代   | 30代   | 40代     | 50代     | 60代   | 70歳以上 | 総数      |
|      | 93    | 119   | 177     | 222     | 193   | 398   | 1,202人  |
|      | 「120」 | 「170」 | 「201」   | 「189」   | 「204」 | 「318」 | 「1,202」 |

- 調査方法 : 調査員による個別面接聴取法
- 調査時期 : 2024年6月7日～16日
- 調査機関 : 一般社団法人 中央調査社

「 」は2020年のデータ



# 「プラスチック」のイメージ調査(2024年) アンケート調査の質問の目的

## ■ 継続質問

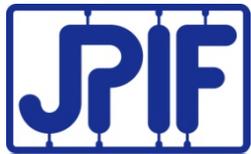
- 【問1】「プラスチック」の全体的な印象に関して自由な回答を得ること
- 【問2】「プラスチック」の各個別質問に対して印象を明らかにすること
- 【問3】「他材料」と比較して「プラスチック」の全体的な印象を明らかにすること
- 【問4】「プラスチック」の特徴、利用に関してその認知度を明らかにすること
- 【問5】「プラスチック」の資源循環、海洋プラスチック問題に関して意見、回答を得ること

## ■ 2020年からの新規質問

- 【問6】焼却によるエネルギーリカバリーの賛否について、またその理由を明らかにすること
- 【問7】「プラスチック」に利用される原油は、国内で使用される原油総量のどのくらいに相当するか、その定量的なイメージを明らかにすること
- 【問8】リサイクルされたプラスチックの価格・品質と購買意識との関係性を明らかにすること
- 【問9】購買における値ごろ感(受け入れ可能価格)の回答を得ること。  
バイオプラスチック(バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック)

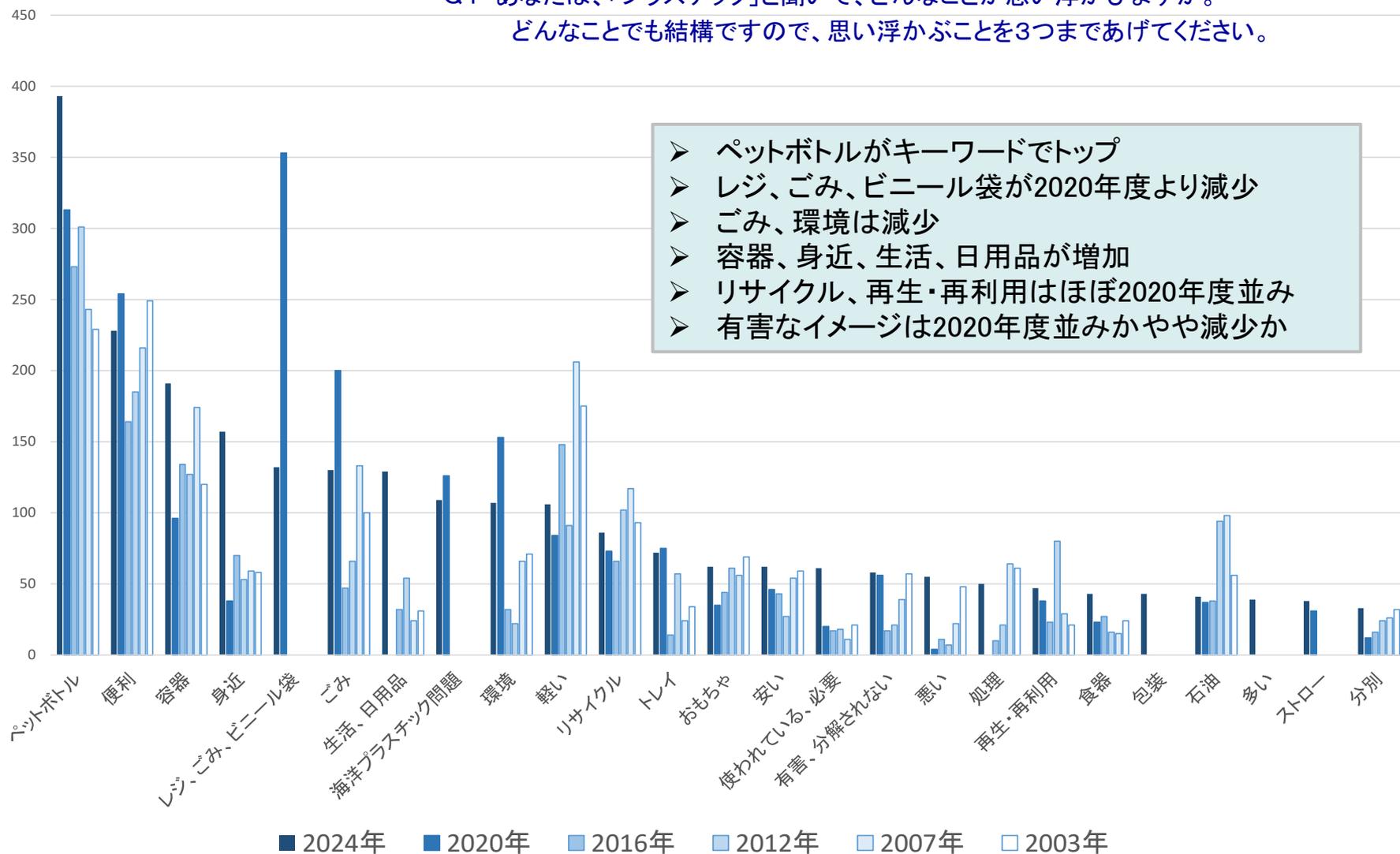


## 2003～2024年度 継続質問事項(問1～問5)



# 「プラスチック」のイメージ(自由回答) 回答キーワードの上位項目(1/2)

Q1 あなたは、「プラスチック」と聞いて、どんなことが思い浮かびますか。  
どんなことでも結構ですので、思い浮かぶことを3つまであげてください。



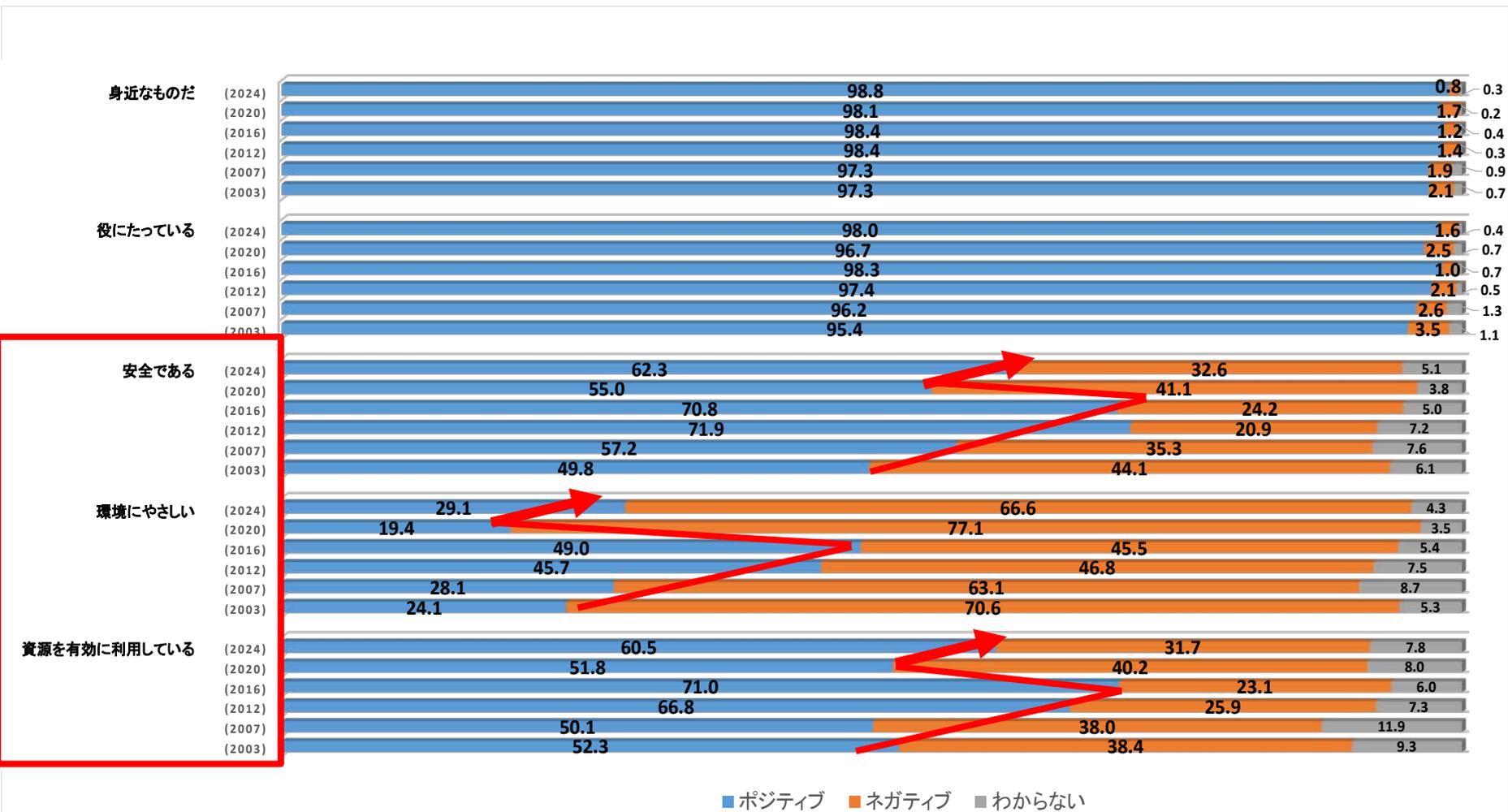
- ペットボトルがキーワードでトップ
- レジ、ごみ、ビニール袋が2020年度より減少
- ごみ、環境は減少
- 容器、身近、生活、日用品が増加
- リサイクル、再生・再利用はほぼ2020年度並み
- 有害なイメージは2020年度並みかやや減少か





# プラスチックに対する印象

Q2 あなたは、「プラスチック」に対して、どのような印象をお持ちですか。ここ(回答票)にあげた(1)~(3)までの、ことからのそれぞれについて、(ア)「全くそう思う」~(カ)「全くそう思わない」でお答えください。



- 「身近なもの、役に立っている」: 24年調査までポジティブなイメージを継続
- 「安全、環境、資源有効利用」: 20年調査で悪化したイメージが回復傾向

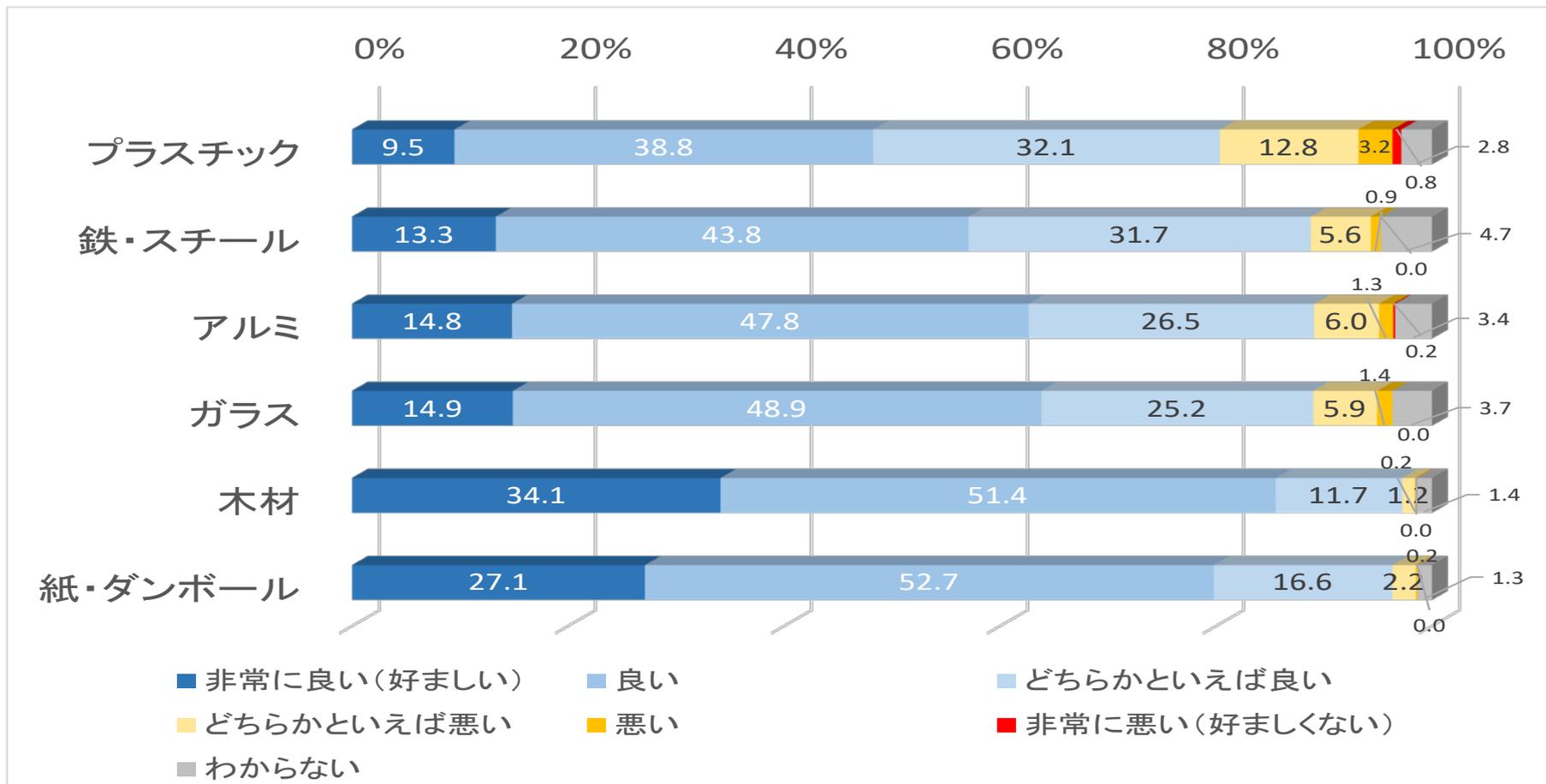


# 日常生活で使われているさまざまな材料の好感度(1/3)

## ～ 2024年調査結果まとめ ～

(プラスチック / 鉄・スチール / アルミ / ガラス / 木材 / 紙、段ボール)

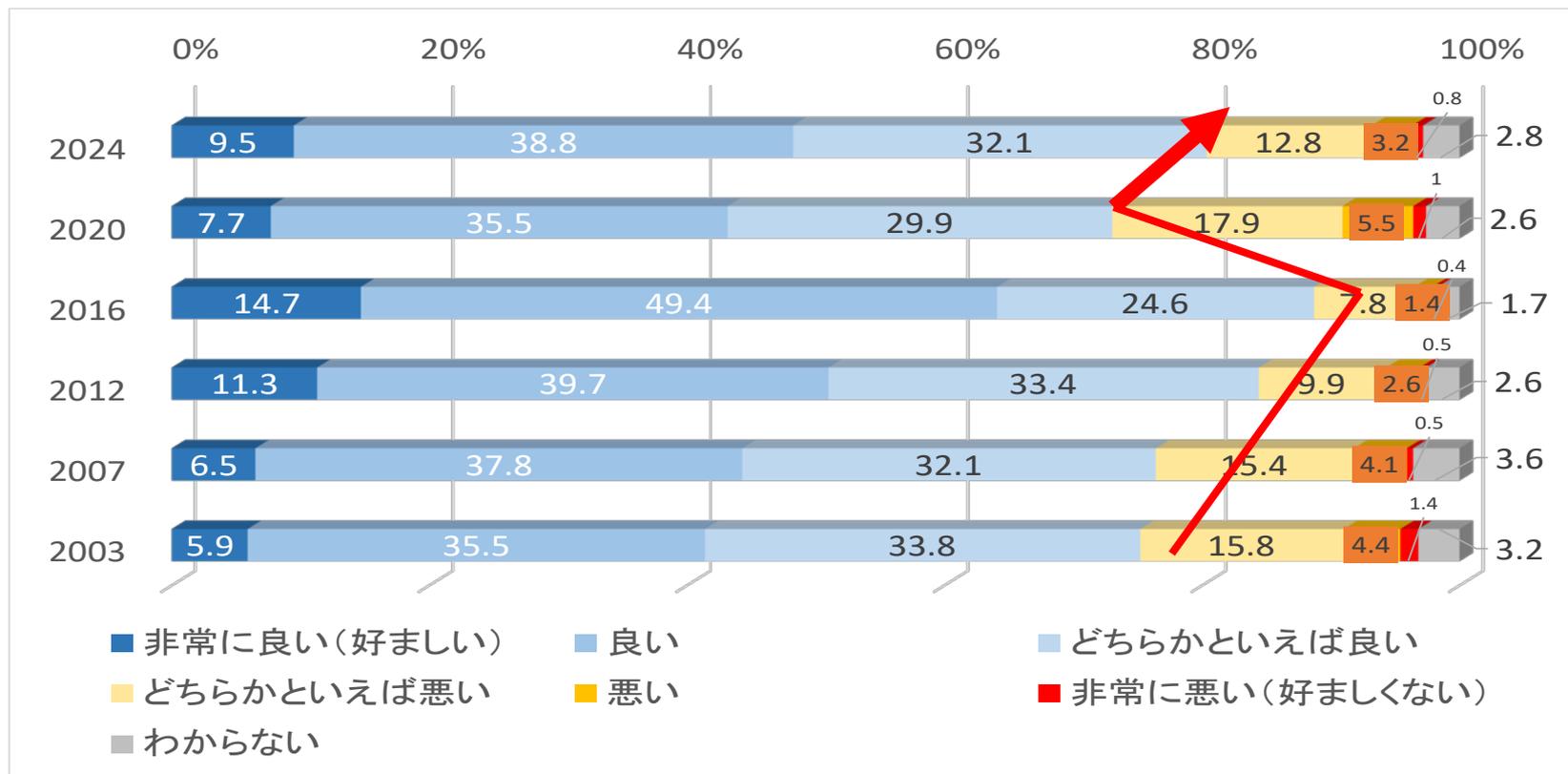
Q3 日常生活で使われているさまざまな材料についておききします。ここ(回答票)にあげた(1)～(6)の6つの材料について、あなたは良い印象をお持ちですか、悪い印象をお持ちですか。それぞれの材料にあなたが感じる全体的な印象として、(ア)「非常に良い(好ましい)」～(カ)「非常に悪い(好ましくない)」の中からお答えください。



➤ プラスチックは他材料と比べ、相対的に好感度がやや低い状況にある

# 日常生活で使われているさまざまな材料の好感度(2/3) ～ 2003年-2024年 プラスチック好感度推移 ～

Q3 日常生活で使われているさまざまな材料についておききます。ここ(回答票)にあげた(1)～(6)の6つの材料について、あなたは良い印象をお持ちですか、悪い印象をお持ちですか。それぞれの材料にあなたが感じる全体的な印象として、(ア)「非常に良い(好ましい)」～(カ)「非常に悪い(好ましくない)」の中からお答えください。



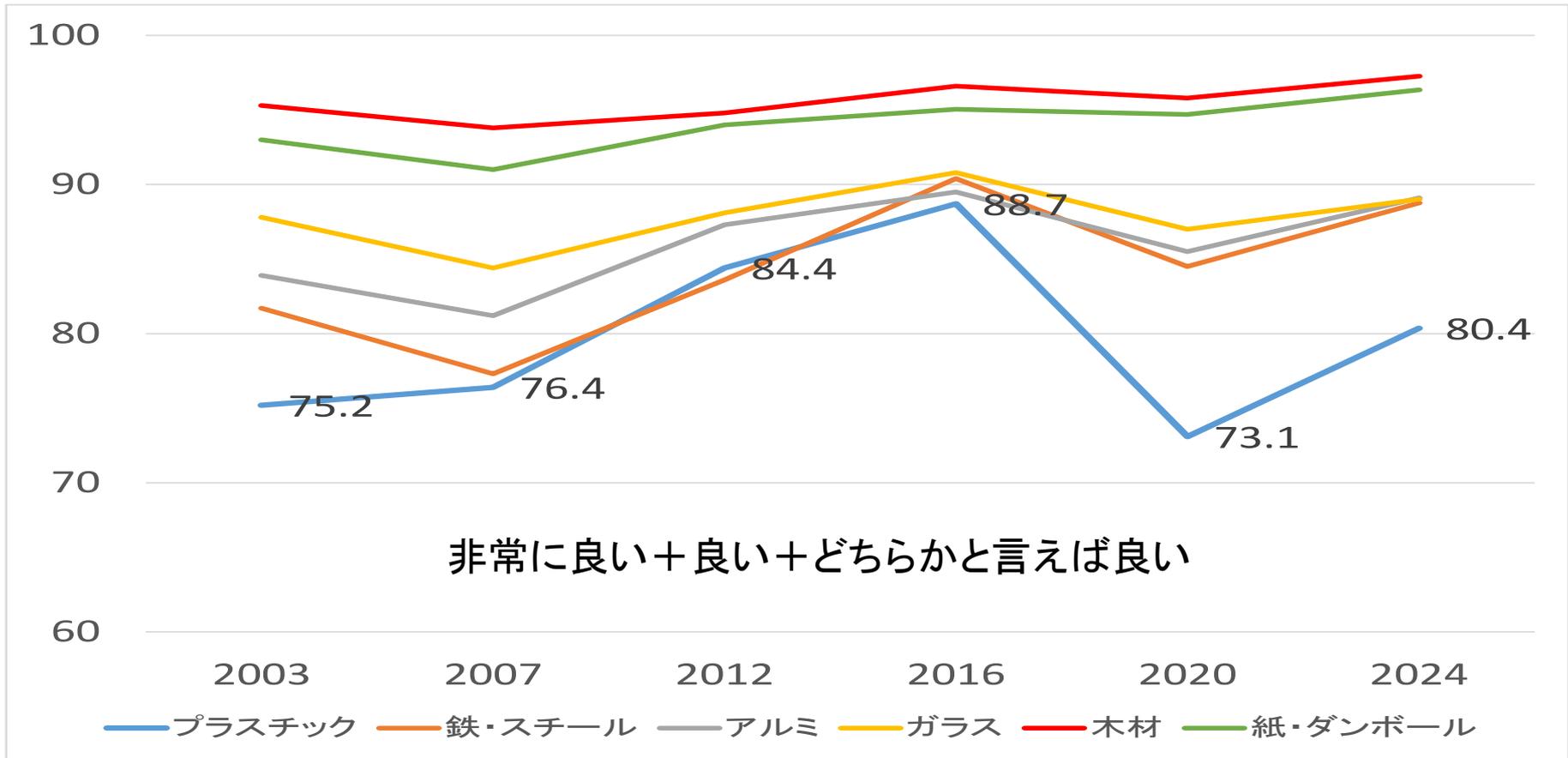
- 20年調査で悪化したプラスチックの印象が24年でやや回復
- どちらかといえば良いまでを加えれば、ポジティブな意見が80%以上



# 日常生活で使われているさまざまな材料の好感度(3/3)

## ～ 2003年-2024年 各材料の好感度推移 ～

(プラスチック / 鉄・スチール / アルミ / ガラス / 木材 / 紙、段ボール)

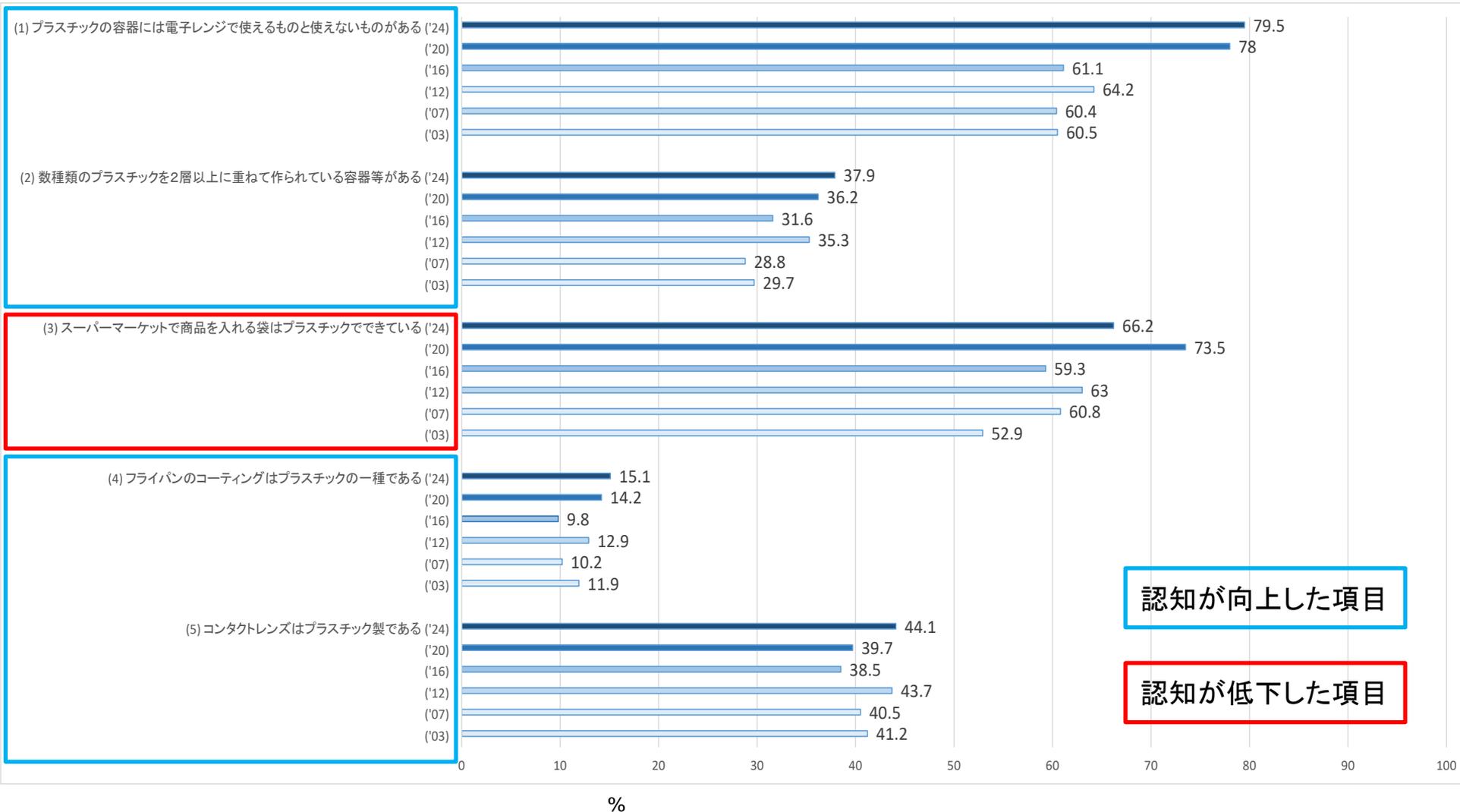


- プラスチックは2016年調査まで一貫して好感度が向上してきており、2016年には鉄・スチール、アルミ、ガラスと概ね同様なイメージまで改善
- プラスチックは2020年調査で好感度が大きく悪化したのが、24年にはやや回復
- 木材、紙、段ボールは2003年～2024年の調査で一貫して高い好感度を有している



# プラスチックの特長・利用方法の認知(1/3)

Q4 プラスチックにはさまざまな種類があり、特長を生かして生活や産業のさまざまな分野で利用されています。  
ここ(回答票)にあげたプラスチックの特長や利用方法について、あなたがお存じのものをいくつかあげてください。



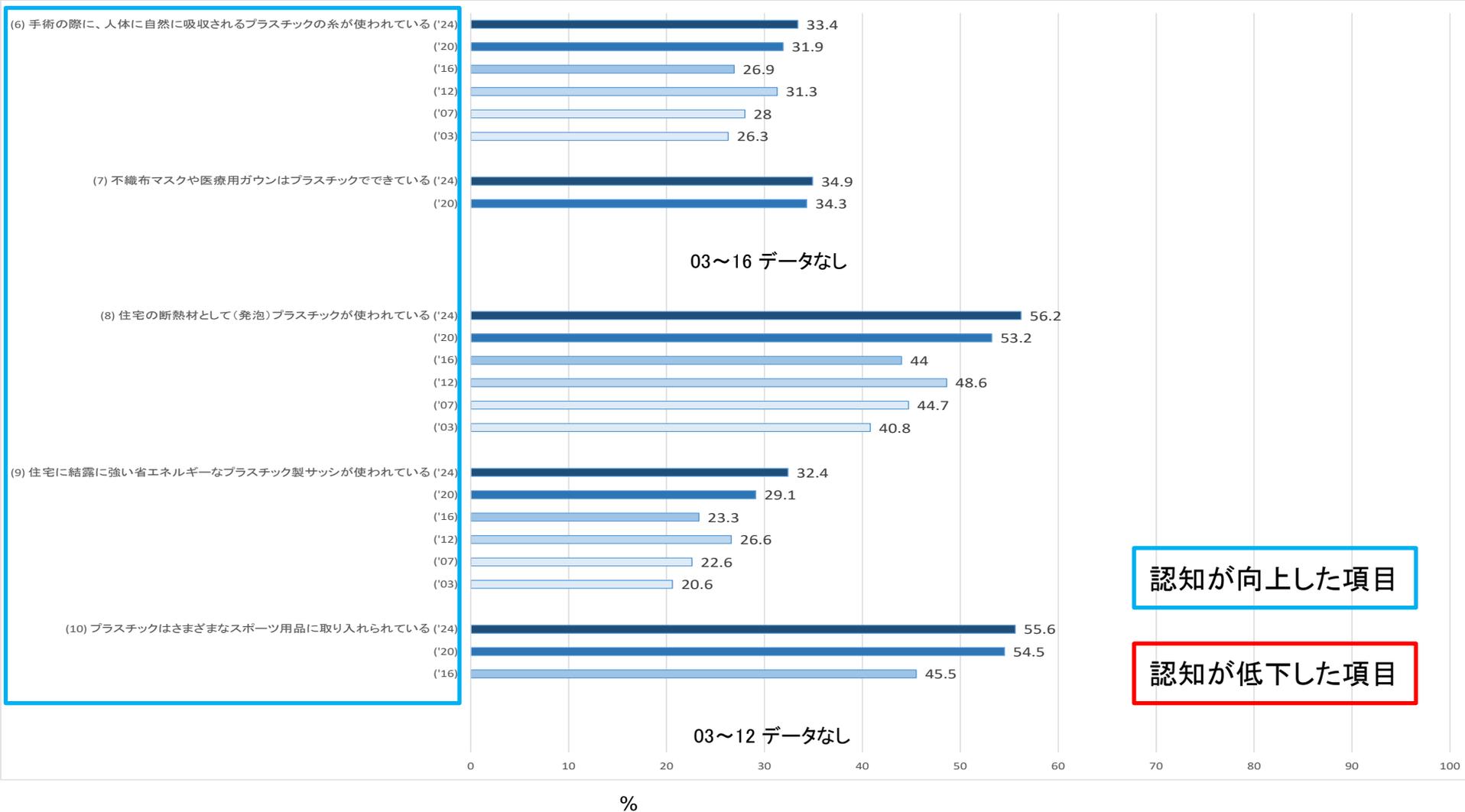
認知が向上した項目

認知が低下した項目



# プラスチックの特長・利用方法の認知(2/3)

Q4 プラスチックにはさまざまな種類があり、特長を生かして生活や産業のさまざまな分野で利用されています。  
ここ(回答票)にあげたプラスチックの特長や利用方法について、あなたがご存じのものをいくつでもあげてください。



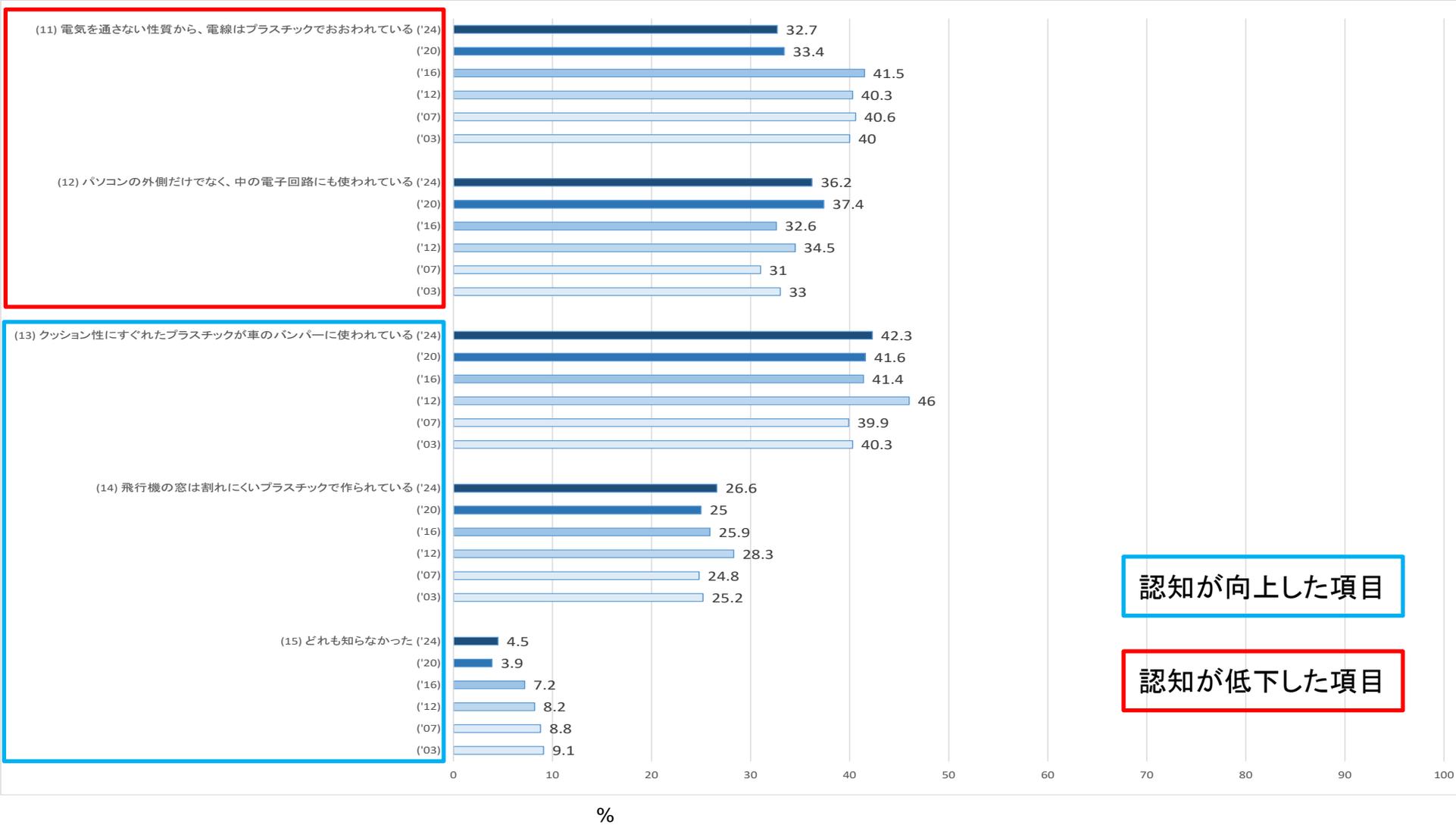
認知が向上した項目

認知が低下した項目



# プラスチックの特長・利用方法の認知(3/3)

Q4 プラスチックにはさまざまな種類があり、特長を生かして生活や産業のさまざまな分野で利用されています。  
ここ(回答票)にあげたプラスチックの特長や利用方法について、あなたがお存じのものをいくつかあげてください。



認知が向上した項目

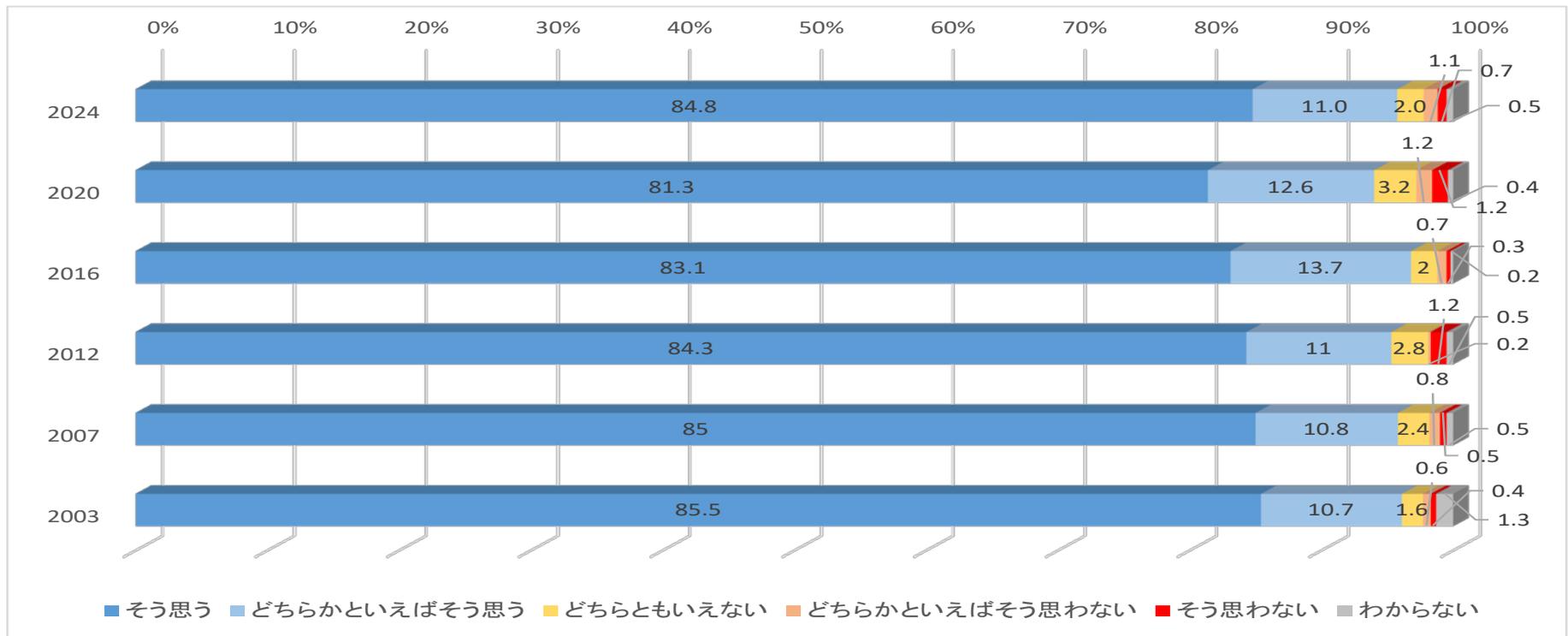
認知が低下した項目

# プラスチック資源循環と海洋プラスチック問題(1/4)

Q5 (回答票)ここにあげた、プラスチックの資源循環と海洋プラスチック問題に関する意見について、あなたはどのように思われますか。(1)と(2)のそれぞれについて、(ア)「そう思う」~(オ)「そう思わない」の中からお答えください。

## (1)分別収集してリサイクルの必要性について

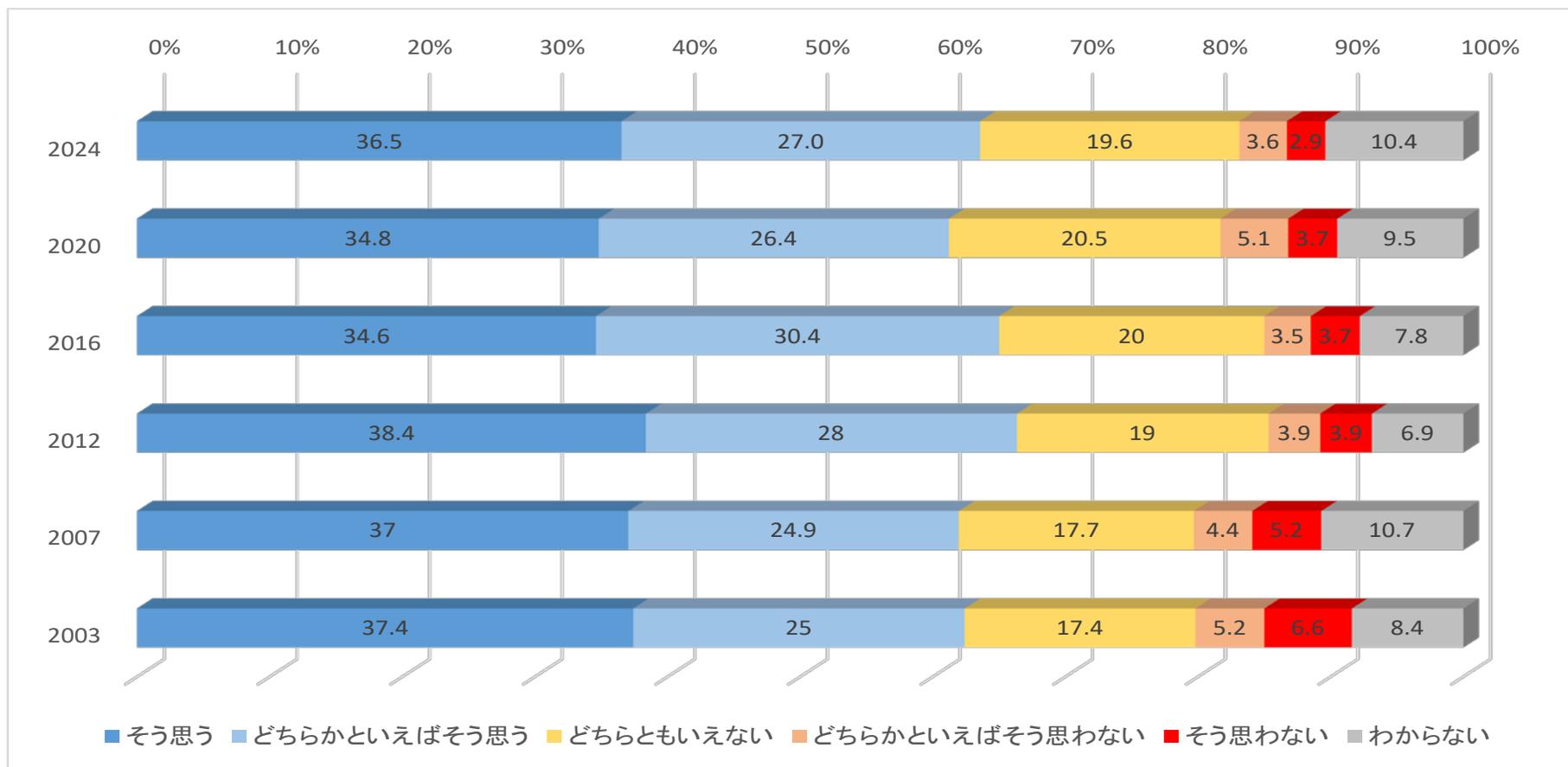
問5-(1) ペットボトルやプラスチック容器については、分別収集して、リサイクルすべきである



➤ 分別収集してのリサイクルの必要性は、90%を超える高いレベルで認識されており、20年までは漸減傾向であったが、24年は向上に転じている

## (2) エネルギーリカバリーについて

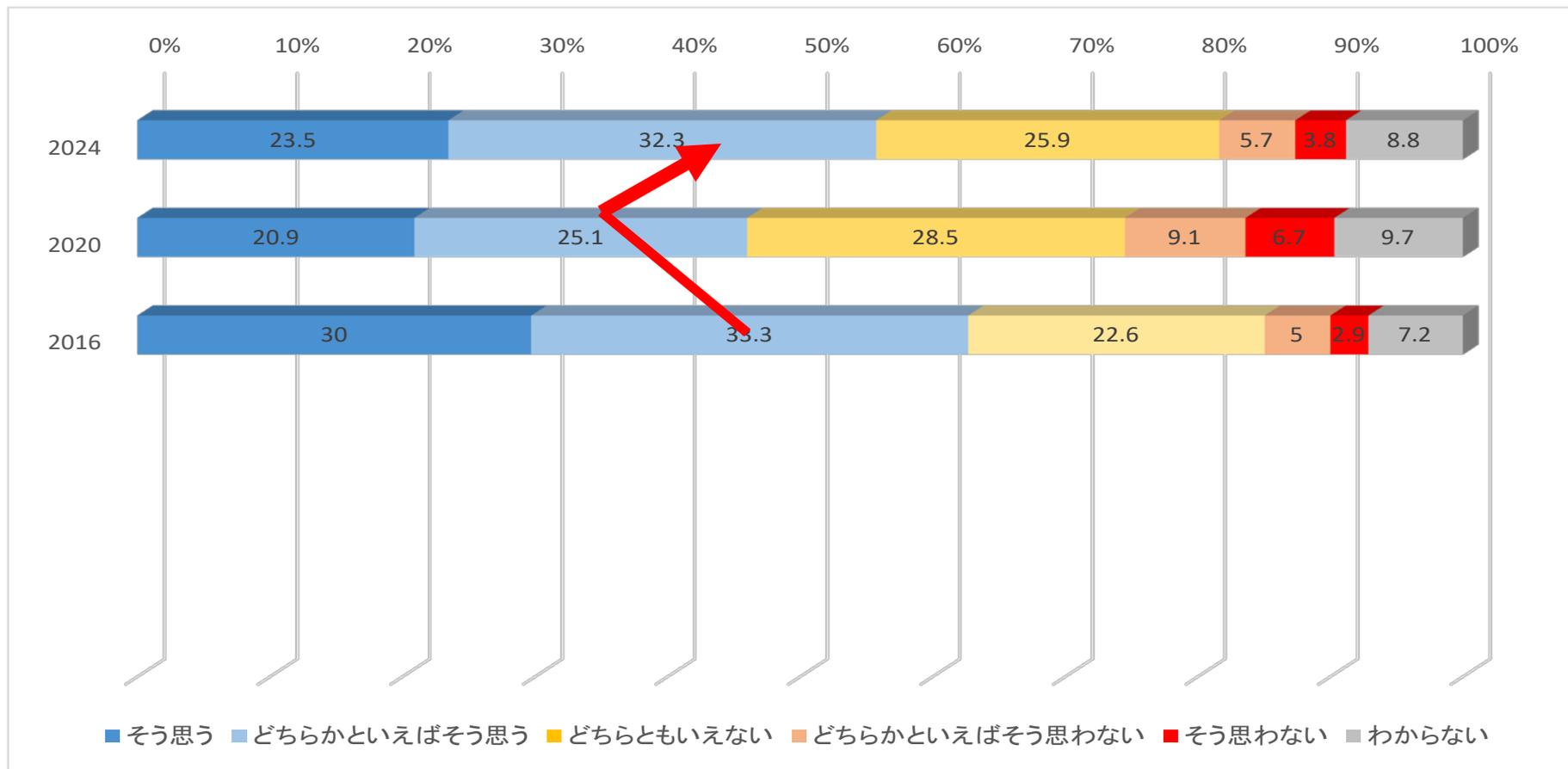
問5-(2) プラスチック製品の中で材料リサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である



➤ エネルギーリカバリーを肯定的に捉えている意見は60%強を維持しており、ほとんど変化がない

## (3) 循環型社会への貢献について

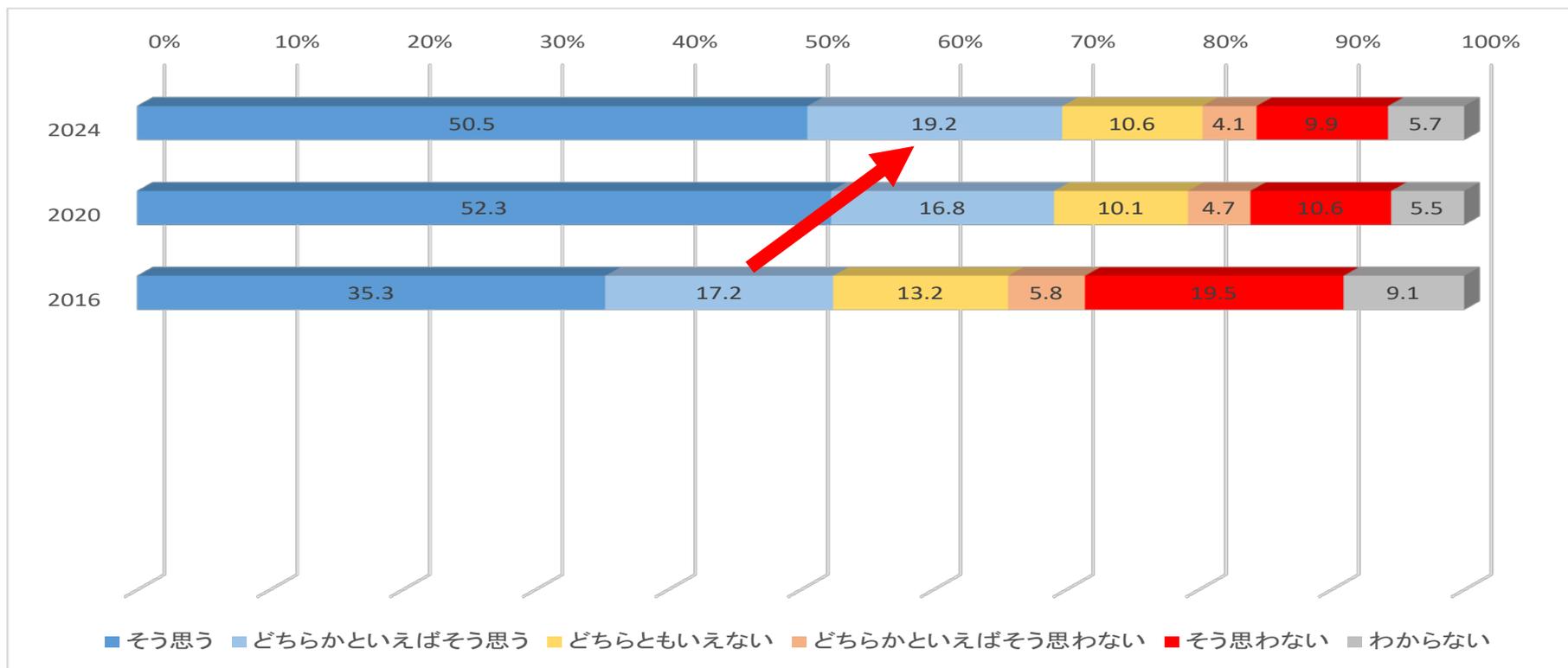
問5-(3)「プラスチック」は循環型社会の形成に貢献している



➤ 「循環型社会への貢献をしているか」との認識は、20年調査で顕著に悪化したのが、24年はやや回復

## (4)ポイ捨てが海洋プラスチック問題につながるか

問5-(4) プラスチック製品は町でポイ捨てしても海洋ごみになる



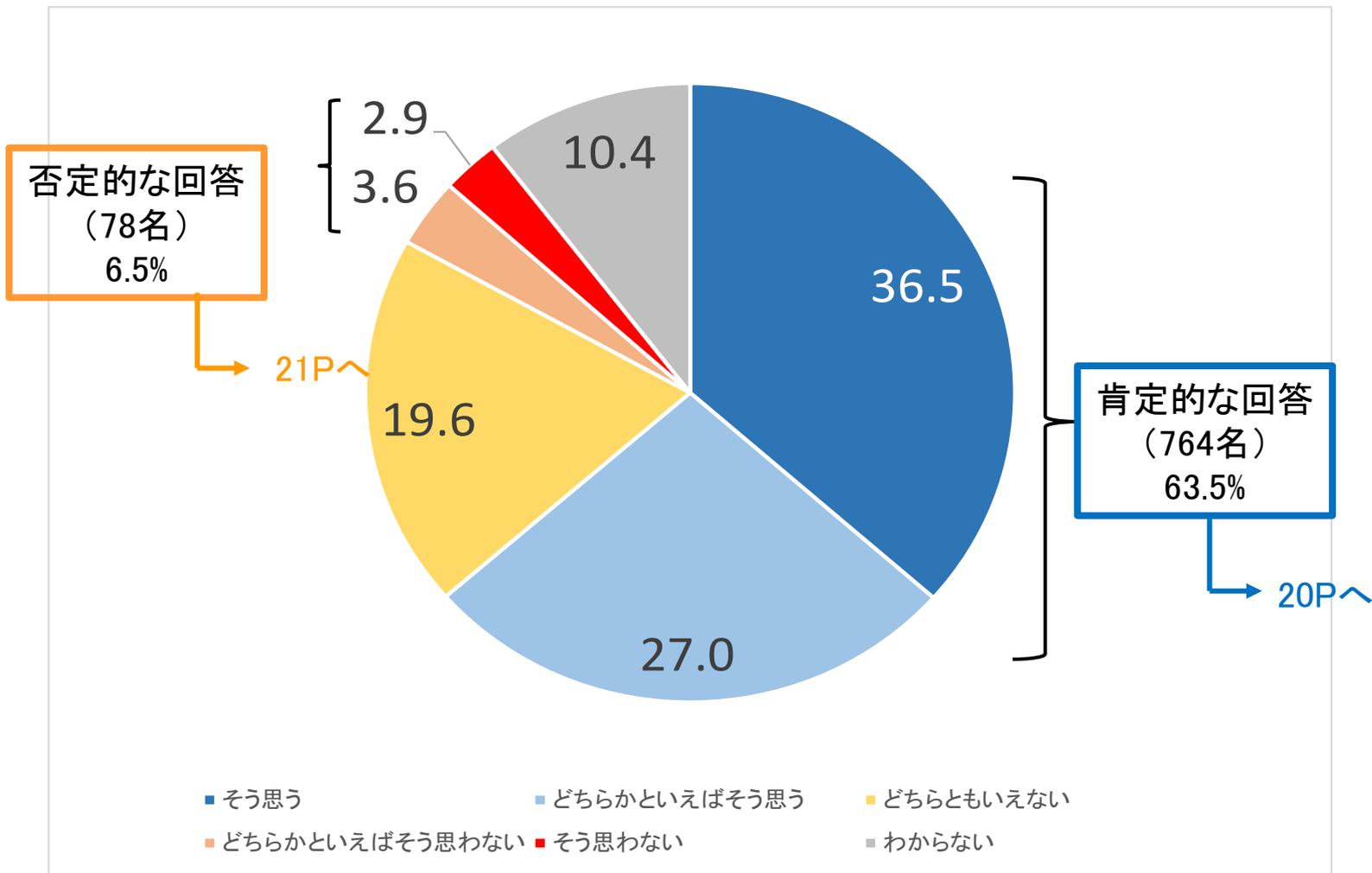
➤ ポイ捨てが海洋プラスチック問題に繋がっているとの認識は、消費者の中で定着しつつある



## 2020年度からの 新規質問事項(問6～問9)

# エネルギーリカバリーの是非の理由について

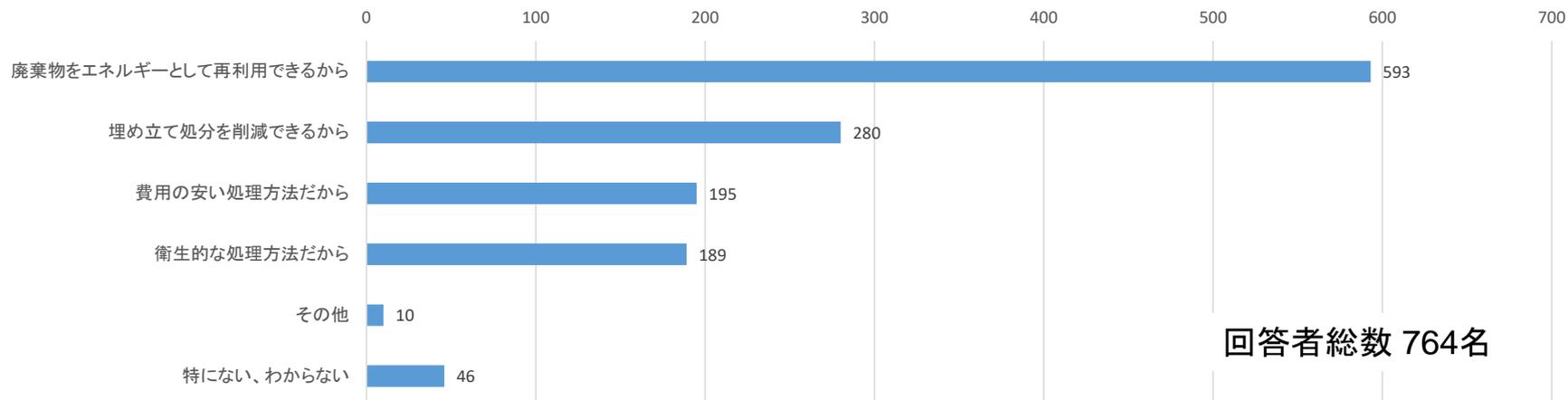
【参考】問5-(2)「プラスチック製品の中で材料をリサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材料等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である」



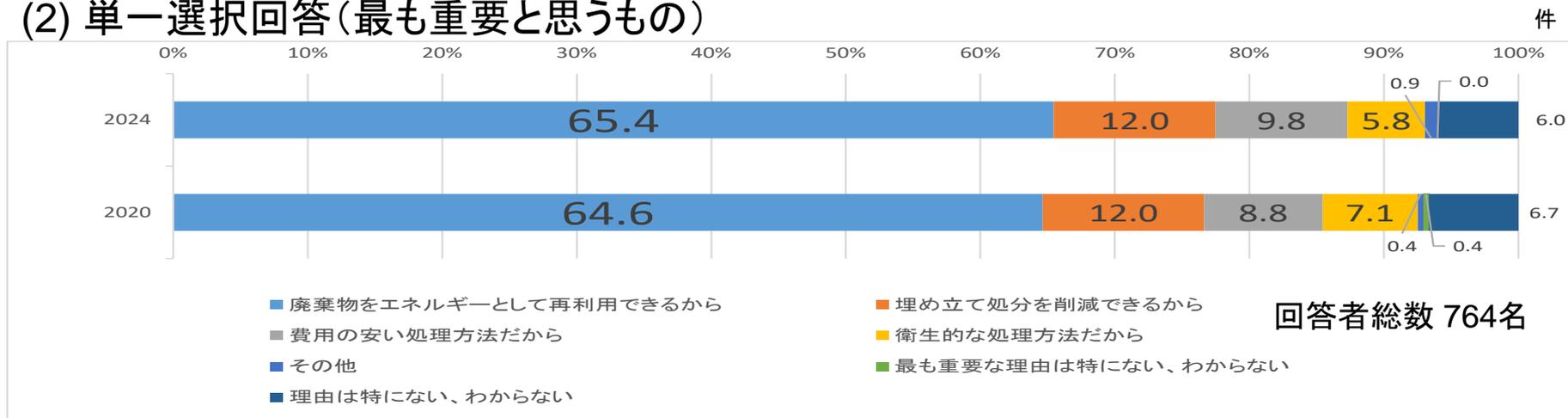
# エネルギーリカバリーに肯定的な理由について

問6(回答票)「プラスチック製品の中で材料をリサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材料等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である」に対して肯定的な意見の理由について

## (1) 複数選択回答



## (2) 単一選択回答(最も重要と思うもの)

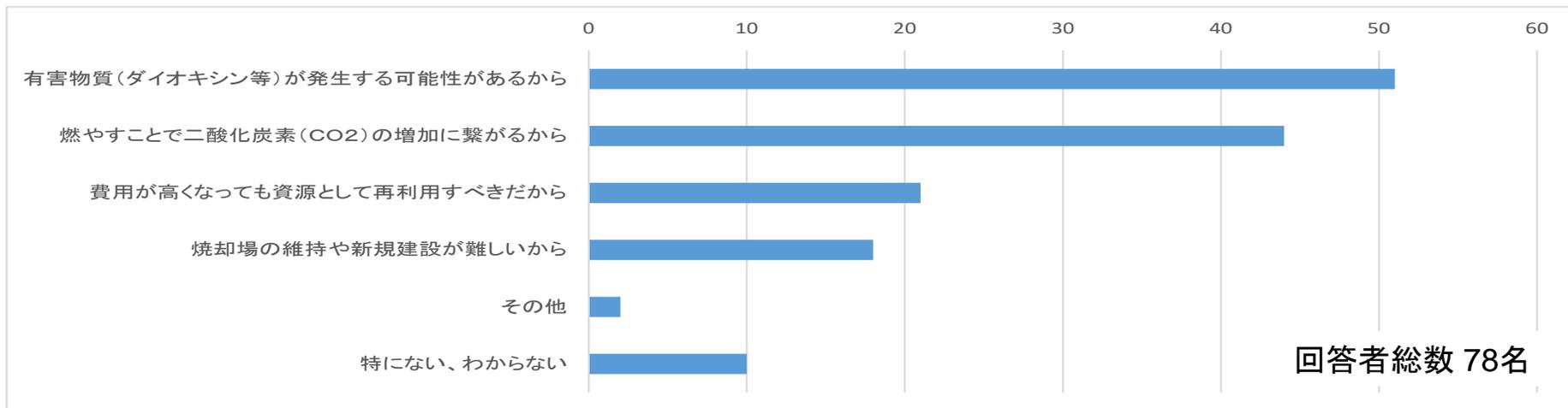


➤ エネルギーリカバリーは消費者に受け入れられており、エネルギーの有効利用と理解されている

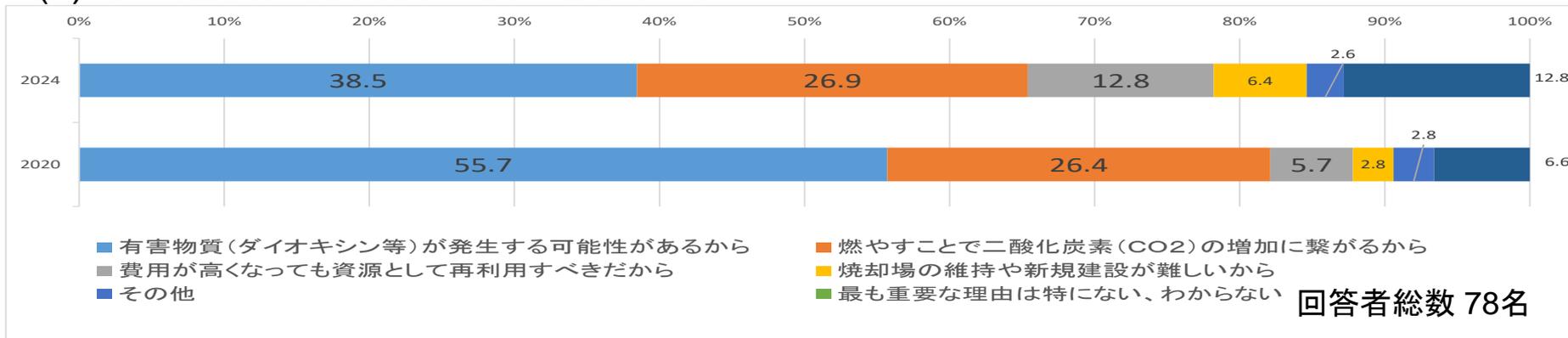
# エネルギーリカバリーに否定的な理由について

問6(回答票)「プラスチック製品の中で材料をリサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材料等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である」に対して否定的な意見の理由について

## (1) 複数選択回答



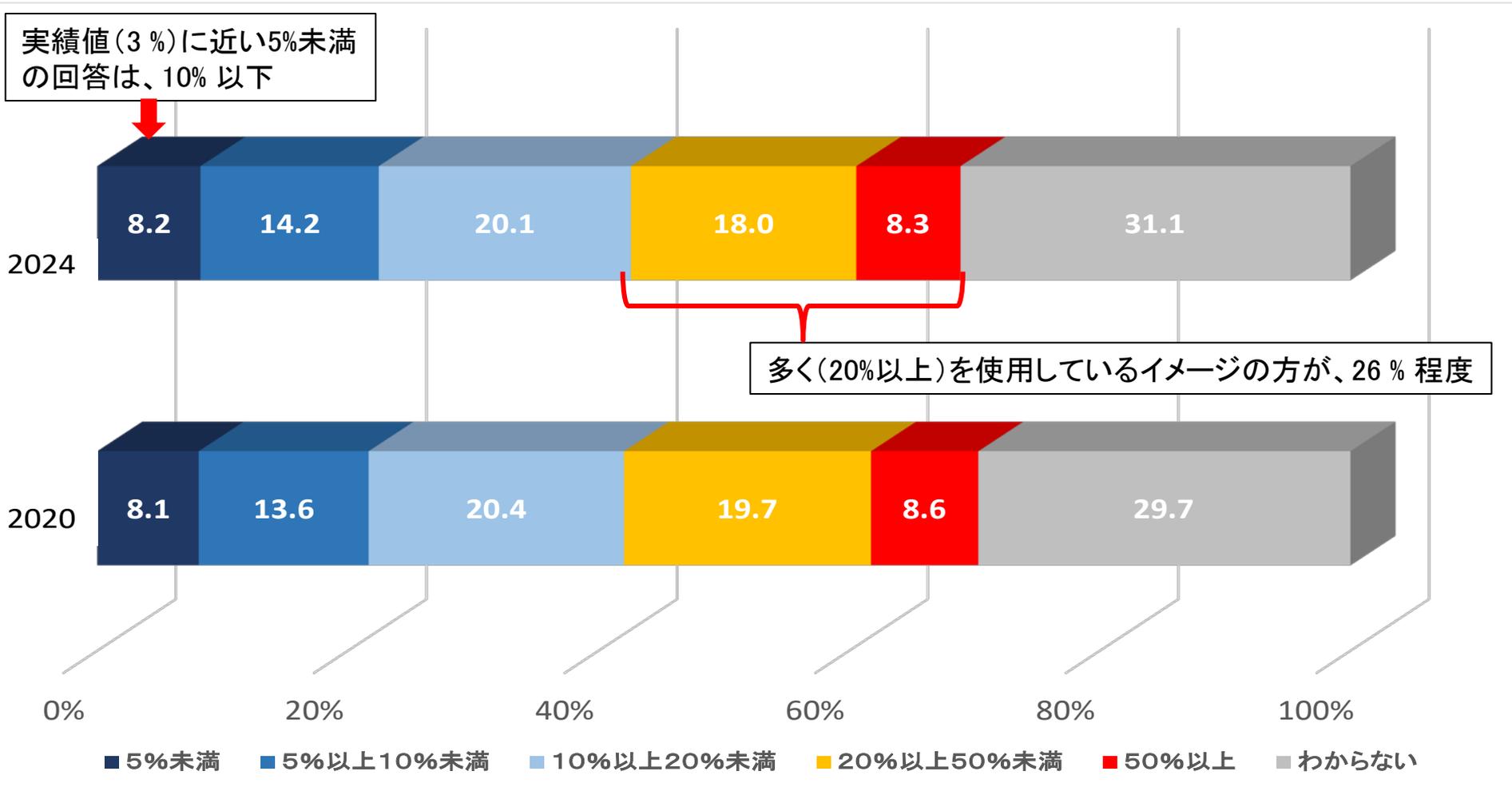
## (2) 単一選択回答(最も重要と思うもの)



➤ 有害物の発生が最も懸念され、二酸化炭素の発生増加に繋がるとの意見も多い

# プラスチックになる原油の割合のイメージ

Q7(回答票)日本国内で使われる原油の総量のうち、「プラスチック」になる原油は全体の何%にあたると思いますか。  
あなたの考えに最も近いものをこの中から1つだけお答えください

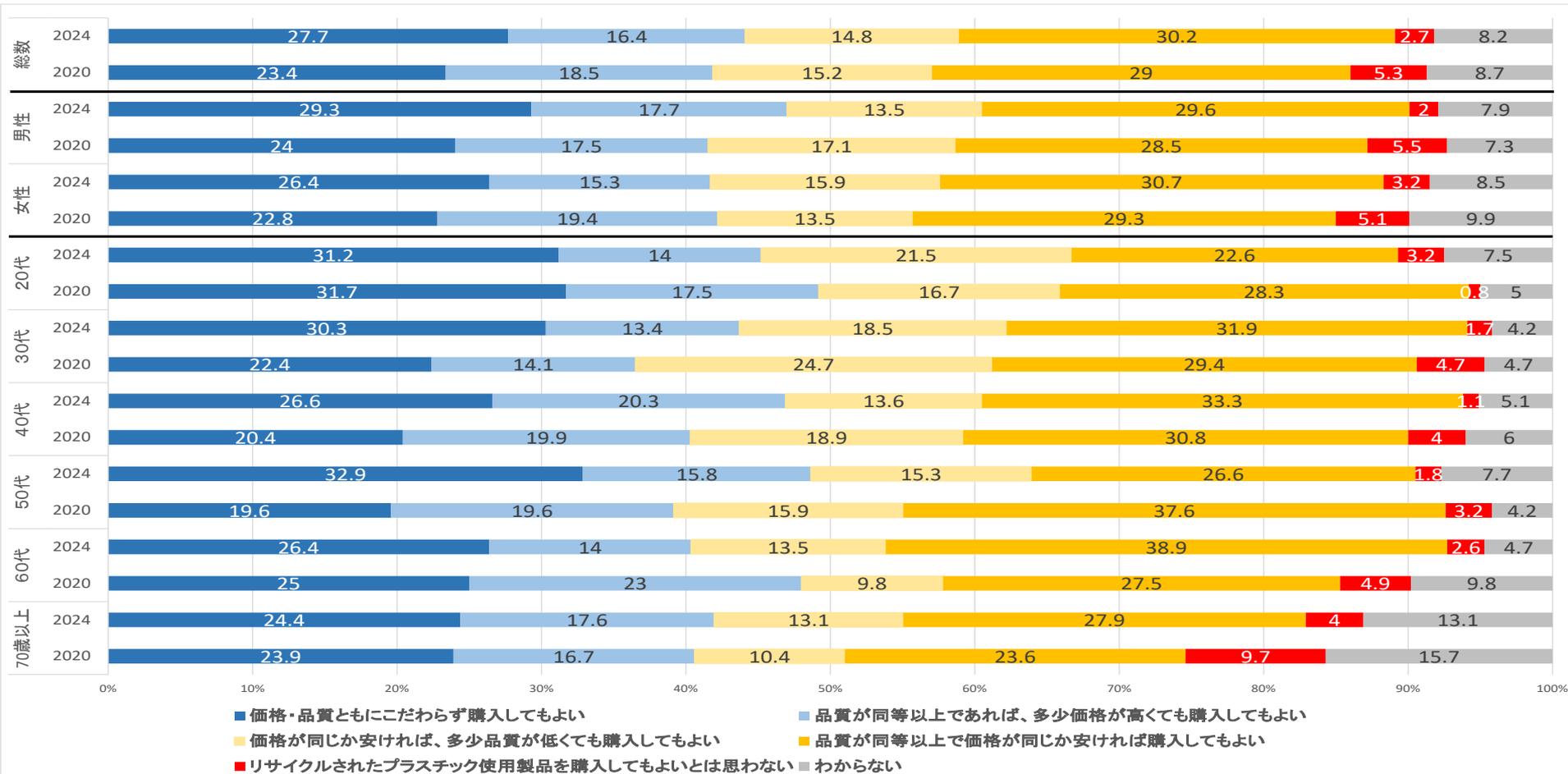


➤ プラスチックに使用される原油の割合を実際(3%)よりも大きく考えている意見が大多数



# リサイクルされたプラスチックを購入しても良い条件

Q8(回答票) 普段の買い物の際、どのような条件が合えばリサイクルされたプラスチックを使用した製品を購入しても良いと思いますか。あなたの考えに最も近いものをこの中から1つだけお答えください

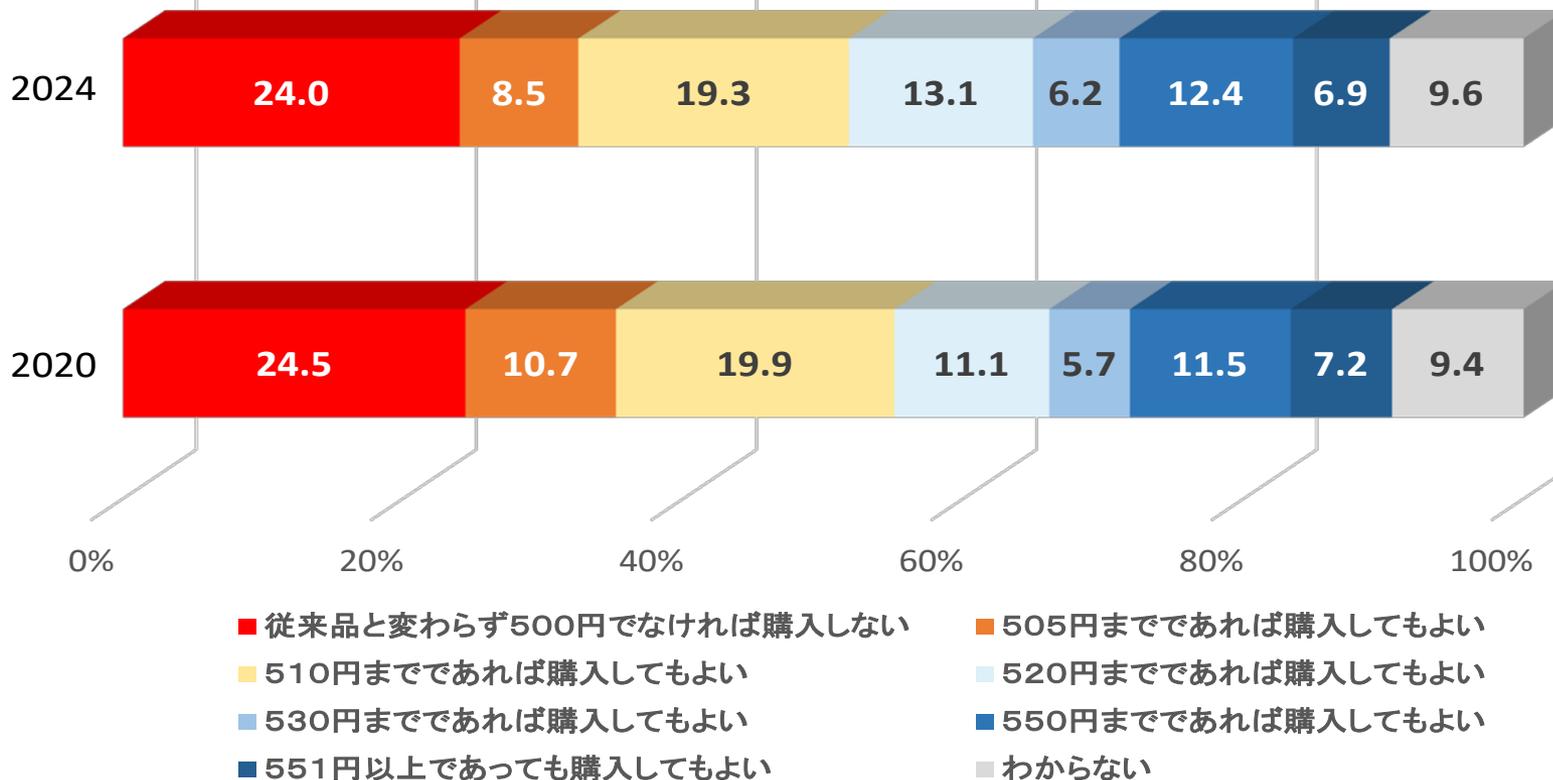


- 環境(リサイクル)重視意見(45%弱)と、コスト重視意見(45%)で拮抗している状況
- リサイクル拒否派は減少し、リサイクル重視派がやや増加
- 20代と60代以上はリサイクル重視派が同程度か減少傾向にある



# バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック製品 負担増に関して許容できる価格について

Q9(回答票)バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック製品は従来品と比べて価格が高くなる場合があります。通常価格が500円のお弁当の容器がこのようなプラスチックで出来ている場合、どのくらいの価格であれば購入してもよいと思いますか。この中から1つだけお答えください



- 価格上昇を許容しない意見が24%、10円未満の価格上昇のみ許容する意見が約28%
- 50円またはそれ以上の価格上昇を許容する意見が約20%程度
- 総じて許容価格は上昇しており、インフレの影響を加味すれば、意識は向上か



以上